

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市川島地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

・川島地域ケアプラザは川島東部地区と川島原地区、西谷地区を担当、H30年のデータでは3つのエリアの合計20,742名、高齢化率は28.57%となり、H28年前のデータと比べ1.87%増え、75歳以上の後期高齢者率は15.32%となっている。そのため地域の介護予防に力を入れ、保健活動推進員と協力し3地区合同でウォーキング事業や、ヘルスメイトの協力で男性高齢者の調理教室などを開催した。地域の状況把握も踏まえてのサロン開催や地域の自主活動への支援など地域へ出向いての活動を重視し、ボランティア育成にも注力した。健康フェスティバルや文化祭にも地域の民生委員・児童委員や役員の方ボランティアに協力を仰ぐなど、地域の方々の協力を得ながら一緒に事業を展開した。

・川島東部地区は帷子川流域の平地と国道16号を挟んで広がる丘陵部からなっている。6つの町内会で構成され、地域の町内会や老人会の活動は活発であり、ケアプラザとの関わりも強い。地域福祉保健計画では「あいさつで地域に広がる笑顔の輪」を標語として、地域の方々とのふれあいウォーキングは全町挙げて計7回開催した。ケアプラザが位置する地区でもあり、ケアプラザの事業（サロン・体操教室・合唱、映画鑑賞）には地域の方の参加が多い。また貸室も利用され自主的に活動している団体も多くある。高齢者食事会では毎回血圧測定し健康への意識づけを行い、看護師が必要な方へ健康アドバイスも行っている。

・川島原地区は区北西部に位置し旭区と隣接している。人口減少が進み高齢化率が33.8%と高く、精神障がい者や認知症高齢者など困難ケースが多く、一人暮らし高齢者も多いため相談件数も他の地域と比べて高くなっている。そのため民生委員協議会の定例会にも職員が毎回参加し、地域状況の情報共有を欠かさず行った。自治会町内会は14あるが6つは連合町内会未加入であるため、地域福祉保健計画を進めるために未連の地域との橋渡しや連絡が途絶え無いように注力した。

・高齢者食事会では毎回出前講座の介護予防支援を行い、ケアプラザ事業のサロンは旧くぬぎ台小のコミュニティハウスで、地域住民に向けて地域ボランティア協力のもと定期開催、健康測定や権利擁護事業もケアプラザに足を運べない方に向けて開催した。

・西谷地区は国道16号と相模鉄道、東海道・山陽新幹線が通っており、西谷駅周辺の比較的平坦な地域と丘陵地のなかなか外出が難しい地域に分かれている。

特に西谷駅の平成31年度11月から相鉄・JRの相互直通運転が始まり、新宿駅までの所要時間が44分と都心まで近くなり、平成34年度の相鉄・東急直通線の開業予定にて都内とも直通となり駅周辺の開発や人口増加など大きな変化が見込まれている。高齢者食事会や老人会の集まりに積極的に出向き、JAの協力も得て多くの講座を行った。保健活動推進員主催の集会では健康講座「認知症講座」を、おれんじドンキー主

催の講座では「地域福祉」の講座で保土ヶ谷区の行動指針を広めた。西谷商店街での西谷フェスティバルに毎年参加しケアプラザの周知と健康促進に取り組み、また世代別にアンケートをとり地域の声を事業に反映した。

・川島地域ケアプラザでは今年度も積極的に地域に出向き、ケアプラザの周知や関係者との関係づくりを行い、地域包括ケアシステムの構築のため、きめ細かなネットワークと連携強化を図った。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

1. 地域の民生委員会議や、地区社協、老人会、地域自主活動団体に出向き、出前講座「メッセンジャー川島」を精力的に実施した。生活に関する情報提供や運動・体操、ケアプラザの役割や各事業の周知を行い相談しやすい関係づくりを強化した。
2. 地域に積極的に出向くことで地域の各機関から気軽に相談を受け、区と連携しながら支援の方向性を示すことが出来た。
民児協の会議では高齢者だけでなく、精神障害者や子どもに関する相談など互いに情報交換した。障がいに関する相談も多くあり、民生委員ケマネジャー連絡会では障がい者理解のための研修を行った。また小学校の福祉学習や中学校で認知症サポーター養成講座等関係機関と連携しながら事業を行った。
3. 地域の商店や金融機関、交通機関などと顔の見える関係づくりのため「川島見守りほっとライン」、「川島 SOS ネットワーク」の協力依頼を実施し、特に今年度は川島見守りほっとラインを川島東部地区・川島原地区・西谷地区の連合町内会に協力して頂き、啓発チラシを回覧・町内掲示板に掲示した。また西谷地区はチラシを全戸配布、川島原地区は社会福祉協議会広報誌一面に掲載して頂いた。

(2) 各事業の連携

1. 1ヶ月に1回5職種の定例会議をもち情報は絶えず共有し合い、必要時には適宜話し合い互いに協力し事業に活かした。
2. 生活支援コーディネーターを中心に5職種が積極的に地域に出向き地域の情報収集を行った。地域アンケートは地域住民のニーズを把握できるように、世代別など工夫しながら行った。より地域に密着した内容の事業を5職種で検討しながら開催した。
3. 事業については、目的や実施内容などを適切に評価し合い、効果的・効率的な方法を5職種で検討し合い事業提供した。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 年当初に研修予定を設定し、職員のスキルアップができるように毎月所内研修（個人情報保護・倫理・接遇・苦情対応・認知症・緊急時対応・事例検討会）を計画的に開催した。職員個々の課題に応じた相談対応研修、必要に応じて個人情報研修を定期研修だけでなく所内の会議などで適宜行った。
2. 所外研修で所内に必要な内容は伝達講習会として研修、事例検討会でヒヤリハットの勉強を行い、発表の場を職員が体験し更なる資質向上を図った。
3. 職員の就労意欲を高めるスローガンの策定と評価を継続実施した。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 地域の地区社協の定例会議や民生児童委員定例会など毎月参加し、連合町内会運営委員会、保健活動推進員やヘルスマイト、おれんじドンキーの会議にも参加、関係機関の方々との情報交換を行い、更に連携を強化した。
2. 西谷商店街フェスティバルに参加し、西谷地域の方々と協力関係を築き、ケアプラザの周知と健康に対する啓発活動を行った。
3. 小学校の生徒への福祉学習では事前に学校のカリキュラムのもとに、学年教師と協力しながら学年ごとの福祉学習支援（バリアフリー、視覚障害の方の暮らし、車いす操作方法・認知症の理解）を実施した。
4. 今年度はケアプラザ3地区の保健活動推進員が合同でウオーキング事業を開催し、地域で連携してより地域の方の意向が反映できるような活動をした。

(5) 区行政との協働

1. ほっとなまちづくりの活発な運営を目指して、支援チームと協力し懇談会の運営を支援した。
2. 地域ケア会議や地域の会合参加と独自の地域アンケート等で、地域情報を把握し地域ニーズに沿った活動をした。
3. 認知症高齢者支援、SOS ネットワーク、虐待予防、子育て支援等、行政の関係機関と連携し、専門性を活かした的確に支援した。区地域担当とたえず連携をとりながら地域の相談窓口として、情報の共有・連携と的確な支援をした。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 小学生をはじめとする子どもたちが、住んでいる地域に楽しみややりがいを見出せるような内容も盛り込むよう、既存の事業を見直した。川島健康フェスティバルの子どもリズムジャンプや、子ども夏休み教室での地域ヘルスマイトさんとのふれあい、川島文化祭月間の作品展示会で地域の保育園やはまっこスクールの出展、文化祭当日の子ども対象の模擬店や地域コンサートなどがそれに当たる。地域の子どもたちが年長者とふれあうきっかけとなり、日頃からお互いに関心を持ち、多世代交流につながるよう目指す。
20～59歳が生活の中で知りたい保健福祉情報を発信する「大切な人を守るための福祉情報最前線」を5職種で内容を検討し計画。今後この世代に対しても福祉拠点としての印象付けや地域活動交流の場としての意識付けができるよう事業の周知法を含めて考察を重ね、小学校PTA会長や中学校PTA会長にも協力や助言を頂き、若年層にもケアプラザの事業へ関心持って頂けるよう働いた。今後の継続開催につなげるように意識している。
2. 地域で紙芝居口演でご活躍の「ほどがやえかたり〜べ」の方を講師に絵本の読み聞かせ、初めの一步という内容の「ちょこっとえかたり〜べお気に入りの絵本を読み聞かせ」を実施。参加者の動機は「家族や今の活動に生かしたい」「本の楽しみを広げたい」という身近な人への思いが多かったが、講師の親身な指導もあり、その参加者が子育て事業2つと交流サロン事業1つで定期的に絵本の読み聞かせを実践するまでになった。この体験を今後の地域活動に発展できるように声掛けと活動の場をみつけることに取り組んでいく。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 趣味活動貸室利用団体の活動の場として、川島文化祭作品展への出品を勧めた。今年度は地域の福祉施設や保育園やまっこスクールの作品も数多く寄せられたため、その内容もバラエティに富んでいた。その作品を身近に感じることができ、自身の活動をそういった地域の施設での取り組みに生かすことはできないかと考えるきっかけになった。また、作品展会場でいつもの活動を行う「実演」にも協力してもらったところ、地域交流の場としての団体という意識付けができ、新規会員の受け入れにも柔軟な様子を伺うことができた。
また、料理の貸室団体に対しては調理室の定期清掃を手伝ってもらえることとなり、より施設を身近に感じてもらうようになった。
2. 地域の活動団体に対しては、その会議に出席したり、意識して予定などを聞くことで活動への貸室利用につなげることができた。子ども会、スポーツ推進委員、青少年指導委員、連合町内会、活動自体やその会議のための利用が多くなった。その利用内容から、自主事業計画のヒントとなった。また、小学校 PTA 主催のお祭りからも初めて出展依頼があり、新たな地域活動に一步踏み出す足がかりとなった。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティア活動の場を紹介する事に関して常に意識をもつように心がけた。地域のデイサービスからケアプラザ利用者で活動を披露してくれるボランティアは居ないかと相談を受けたため、ケアプラザ内の活動をボランティアや地域活動を始めるきっかけになると考え、それを呼びかけるチラシ作成をデイサービス側に依頼した。活動団体に紹介することで普段の趣味活動や交流活動がボランティアにつながるということを印象づけることができた。実際に活動を披露した団体もあった。
2. 川島健康フェスティバルや文化祭作品展や文化祭当日には、地域で活躍している認知症キャラバンメイトや、ヘルスマイト、子どもの科学教室、紙芝居口演団体などに活動発表や製作物披露などを行う機会を提供した。それを見た地域の住民から、自身の活動に招待したいという相談が後日あり、必要な情報を必要な団体につなげたという実感を得た。また、3月に実施した「地域支援者交流会」では、地域交流を行っている団体と、その活動を手伝うことができるボランティアでお互いを知ることが出来るような内容を目指し、生活支援コーディネーターと話し合いを重ねて臨んだ。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 地域の祭りに出向くことで、一般店舗とは違う手作り感や店番担当と交わされる会話をそこに集う人が楽しんでいる事や、開放感のある会場で家族ぐるみでワイワイ楽しむ様子を観察することができた。子どもから大人まで多世代にとって楽しめる要素のヒントを得ることができ、ケアプラザの祭り事業などに生かすことができた。子どもが思い切り体を動かせる時間や、多世代でおいしく食べられるような食販、温かい飲み物の提供、手作りの魚つりなどのイベントを取り入れた。また、川島小学校における人権週間では、1年生から6年生まで(4年生は区社協)の児童に対し、5職種で担当学年を決めて福祉教育を行った。学校の人権目標に合わせた内容にしたこと、学年の発達段階や実態を考慮し、担任と事前打ち合わせを行った上で実施したことから、学校の年間計画に組み込まれることとなった。地域の福祉拠点という周知を小学校6年間通じて行えるため、今後も「多世代で支え合う地域」につながる第一歩として意識していく。
2. 広報誌「リーベ川島」では、祭りの報告や、生活支援情報の載った「ほっとページ」の紹介、季節の園芸情報や書架の蔵書案内等も掲載し、様々な方がケアプラザに興味を持ち、足を運んでもらえるような工夫を行った。さらに、地域住民に親しみを持ってもらえるように願いをこめたマスコットキャラクター「しいちゃん」作成。広報担当として活躍中であり、お子さんや高齢者の方にも好評である。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

地域の支援者活動の場へ包括職員と共に足を運び、ケアプラザの周知を行った。
資料として、パンフレットを新たに作成し、内容は地域の方にわかりやすく見やすくする為ケアプラザ全部署で検討した。また、見守り事業「地域見守りほっとライン」の協力も依頼し、生活支援体制整備事業の理解を得ることができた。老人会「友愛活動」の話合いの場にも出向き活動状況、課題の聴き取りを行うなど、ケアプラザとの連携に繋げる活動も行った。運動系の地域支援者向けに体力測定方法指導、交流を目的とした事業を1月に実施した。また、サロンや食事会などの地域支援者向けに、ケアプラザ貸室団体やボランティアを紹介する機会を設け、活動のマンネリ化や担い手不足の課題解決に向けた事業「地域支援者交流会」を実施し、各事業共通して地域支援者同士の情報交換を行った。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. アンケート10回、人数401人から回答を得た。上半期のアンケート集計を5職種でアセスメントした。身近な場所で近隣住民同士交流できる場を求める回答が多く、また見守りや声掛け、話相手など自分ができることとして多くの回答があった。交流の場づくりが地域住民に必要とされている。
2. 地域支援者向け事業の情報交換の場で情報誌「つながるほっとページ」に掲載している活動内容を確認しながら更新作業を行う。エリア内の民間企業の社会貢献活動はホームページや地域役員への働きかけなどにより情報を把握した。
3. 健康不安解消の為、CPにて健康フェスティバルを実施した。またケアプラザまで足を運ぶことが難しい地域には、包括職員と出向き、測定と健康相談を実施した。詐欺の注意喚起、犯罪に関わる情報提供を行い、被害防止に努めた。3月には健康測定と権利擁護の講座を地域で実施した。

(3) 連携・協議の場

1. 交流の場がない地域に包括職員と出向き体操教室を実施した。交流の時間を設け、交流の場のニーズを把握した。自治会役員と民生委員との協議体を開催し、月1回の交流の場を実施することができた。また、新たに老人会、町会消防団の活動に参加し関係づくりを行うことができた。
2. 情報収集した民間企業12件の内6件事業所へ伺い「地域包括ケアシステム」「地域見守りほっとライン」、「SOSネットワーク」、広報誌配布等協力依頼を行った。エリア内の民間企業との関係づくりを行うことができた。商店会会長の協力を得ることもでき商店会役員の店舗にはちらしを掲示することができた。
3. ケアプラザの貸室団体、ボランティアには「つながるほっとページ」で地域支援者活動の情報提供を毎年行っている。今年度は加えてボランティアからの情報発信を地域支援者交流会で行った。自分達ができることを発表する場を設け、地域活動支援者とのマッチングにより、地域の活性化を図った。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 障がい施設との連携を検討し、3ケアプラザ合同で施設へアプローチを行った。高齢者も集えるお茶飲み場実施へ向け話し合いを重ねた。
まずは障がい施設職員へのケアプラ周知を優先し、障がい施設祭りに出店しパンフレット配布、関係づくりを行った。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. 様子が少しおかしいと感じた際に気軽にケアプラザへ連絡頂くよう「川島見守りほっとライン」のチラシを地域の商店や交通機関に直接協力依頼することができた。西谷商栄会にはラミネートしたチラシを各店舗に掲示して頂けることになった。また病院では待合室への掲示など地域住民への周知にも繋ぐことができた。
2. メッセンジャー川島にてサロンや老人クラブなどから声をかけていただき、出前講座を実施。定期的に声かけて頂く会もあり、顔の見える関係性につながった。出向いた先の住民がケアプラザでの開催事業に参加したり、より密接なつながりをもつことができた。

② 実態把握

1. 各地区の民児協定例会や地区社協定例会に参加し地域の情報や気になる方などの情報共有を密に行うことができた。会議議事録回覧や所内会議で情報を共有している。
2. 「暮らしのアンケートりぼーん」はメッセンジャー川島など地域に出向いた際に生活支援コーディネーターと実施。地域の生活課題を明確化できるよう年度中に集計・評価した。

③ 総合相談支援

1. 「地域見守りほっとライン」を地域住民や関係機関、商店など各方面へ周知実施。その成果からか民生委員をはじめ地域住民の方からの相談を多く頂き対応した。
2. くぬぎ台団地にて気になる方や地域課題について話し合う地域ケア会議を実施。今回は団地の平面図を用いて情報を直接書き込み可視化して、地域住民と様々な情報・課題を共有することができた。2月にはより地域課題を掘り下げ、話し合いを行った。
3. 川島お便りコールを継続的に実施。切れ目ない声かけを行うことで支援が必要となった時にスムーズに対応することができた。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 振り込め詐欺やオレオレ詐欺の普及啓発を実施。駐在所の警察や地域の民生委員と最近起こった事件や新手の手口に関し情報共有を行い、それを社協・民協定例会やメッセンジャー川島など通じて普及啓発を実施した。3月には地域住民むけの権利擁護普及啓発のための講演会を実施した。
2. 法定後見制度、任意後見制度、あんしんセンターなどの制度利用の必要性ある方の相談が増加している。土業の方に依頼や相談するケースも増え密な連携をはかることができた。

②高齢者虐待への対応

1. 2月に民生委員とケアマネジャーの連絡会にて「高齢者虐待」をテーマとし、講演・事例検討を実施予定。虐待の早期発見の必要性やそれぞれの立場でどんなことができるか連絡系統の確認を行った。
2. 虐待の疑いがあるケースに関して区や関係機関と連絡取り合い都度対応することができた。

③認知症

1. 地域の商店へは「地域見守りほっとライン」とともに徘徊SOSネットワークの周知も実施した。新規協力機関1件、新規登録者3件。
2. 例年通り川島小学校6年生に対し、認知症サポーター養成講座を実施。西谷中学校では2月に実施した。その他にも「おれんじドンキー」の活動の後方支援や西谷地区センターで開催されているサロンに講座を開催。サロンに参加されている子ども連れの親にも認知症について周知することができた。ケアマネサロンの川島さくらんぼでは認知症の事例検討を行うなど認知症普及啓発を行った。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域住民はじめ地域の商店、金融機関、交通機関、病院、薬局、介護保険事業所などに「地域見守りほっとライン」の周知を実施。地域の方の積極的な意見から、店舗へのチラシ掲示につながった。今後も定期的な訪問を行い、継続的な協力依頼をしていく。
2. 民児協定例会に定期参加し、ケアプラザとの連携体制を密に行うことができた。また川島原地区の民児協より、それぞれ民生委員の活動で感じていること、不安に思っていることなど話し合うきっかけをつくってほしいと依頼あり。研修会を実施した。民生委員同士の横のつながりもより強化できた。

②医療・介護の連携推進支援

1. 3月に医療、介護、福祉従事者の連携促進のためケアプラザ単位での多職種連携会議を実施した。
2. 9～10月にかけて区多職種連携会議の案内もあわせ地域の病院、薬局への挨拶回りを実施。同時にケアプラザの案内と「川島見守りほっとライン」の協力依頼も実施。より身近にケアプラザを感じていただくことにつながった。

③ケアマネジャー支援

1. 定期的に川島さくらんぼを実施。今年度は事業所間による事例検討会や地域包括支援センター主催の事例検討会を盛り込み参加者の増加につながった。ケアマネジャー同士の交流やスキルアップにつなげた。
2. 居宅介護支援事業所への訪問は2ヶ月に1度のペースで実施。地域包括支援センターから依頼したケースや困難ケースの相談対応などを行い相談し合える関係性を築くことができた。
3. 地域住民が関わるケースに関して必要に応じてカンファレンスを2回開催。支援者同士での情報共有と役割分担など話し合うことができ、円滑な支援につながった。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 地域住民はじめ地域の商店、金融機関、交通機関、病院、薬局、介護保険事業所などに「地域見守りほっとライン」の周知を実施。今後も定期的な訪問を行い、継続的な協力依頼をしていく。
2. 昨年度からくぬぎ台団地について継続して個別の地域ケア会議実施。今年度はより地域課題を明確にするべく改めて地域ケア会議を開催。くぬぎ台団地の平面図を用いて活発な情報交換を行い、可視化することでより参加者同士の情報を共有することにつながった。
2月には、さらに地域課題を明確にするため個別地域ケア会議を開催した。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 介護予防ケアマネジメントのケアプランや請求に関する質問や問い合わせはその都度対応。またケアマネジャーのためのサロン「川島さくらんぼ」の中で介護サービスとインフォーマルサービスとの併用などの勉強会や相談対応を実施した。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 7月に2回コースで、ハイム向台にて体操教室と健康測定を実施。近くに体操教室やサロンなどの資源がない為、定期開催の希望の声が多くあり10月より、『あったかサロンぽかぽか』をハイム向台自治会との共催で発足。体操や健康講座、シナプソロジーや健口体操を実施し、介護予防及び地域交流の場とした。
2. 「男性のための体操教室」を2回コースで開催。参加者は10名と男性限定の体操教室としては参加者が多くあった。全員より継続希望の声があがった。今後も男性の力を生かし、地域活動やコミュニケーションを広げる働きかけを継続して行う。継続開催に向けて、次年度は開催回数の増加を検討中であり、将来的には定期開催を行っていく予定。
3. 川島健康づくり隊・川島健康づくり隊フォローアップ研修事業を開催。健康フェスティバルでは、卒業生たちが体操やシナプソロジーを住民へ披露する機会を持った。緊張した様子だったが、皆無事終わることが出来、充実した様子だった。地域の方が力をつけ、今後も継続実施できるように、地域のニーズに合わせ提供していく。今年度で第7回を迎える川島健康づくり隊は、6回目まで体操をメインで実施。今年度より、認知症に効果が高いと言われている音楽レクリエーションを導入する事とした。(H31、1月開催)
4. 生活コーディネーターと既存の地域の体操教室やサロンに出向き、参加者の健康状態や暮らしぶりニーズについての把握をし、健康測定や健康ミニ講座、認知症講話等実施。
11月に「好きです！ハッピー・卓球」キラリ☆シニア塾に認定された。
- 5 介護予防講座を地域の实情にあわせ実施。
11月、くぬぎ台団地で地域ケア会議を実施。買い物に行くために近くに大きなスーパーがないことが地域課題としてあげられた。そうした声から近くにあるコンビニ食で栄養のバランスのとれた食事をとれるよう栄養講座を2月に実施した。
また、西谷の活動団体への支援を行ううえで集える場所がなかなか無いため、JA西谷に協力依頼し、会場を貸して頂けることになった。老人会や運動・体操をメインに行っている活動団体に声かけをして体力測定講座を1月に実施した。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設管理の保守メンテナンスの業務委託契約を行い、適切に管理している。毎月1回職員による施設清掃を実施し施設の状態を確認するなど施設維持管理を行った。

(2) 効率的な運営への取組について

5職種会議やリーダー会議、運営会議を毎月1回実施し、また毎朝のミーティングを行うなど、サービスの質の向上と今後に向けての意見交換を行った。地域の皆様からのご意見やアンケート結果等から事業内容の見直しを随時行い、地域のご要望に合った事業展開を行った。

(3) 苦情受付体制について

館内に「川島地域ケアプラザ相談窓口・苦情対応窓口」のお知らせを掲示している。ご意見箱を正面玄関と1階・2階の各部屋に設置しています。来館された地域の方の生の声をいただけるよう、いつでも自由に記載できるような環境とした。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯マニュアル等が作成設置してあり、もしもの時に迅速な安全対応ができるように、平素から準備している。防災訓練を年2回計画し、職員の防災に対する意識向上を図ると共に、マニュアルにそった対応ができるよう地域住民を巻き込み訓練した。

(5) 事故防止への取組について

軽微なものも含め、全ての事故に対して迅速な報告・連絡を徹底し、報告書を作成し対応しています。具体策をマニュアルにも反映させ、マニュアルの改訂を行っている。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報は施錠可能な場所に保管し管理をした。毎年個人情報研修を開催し、職員の個人情報保護に対する意識を高めた。実際の個人情報が含まれる書類等については、施錠できる棚に管理し、ファックス利用時や郵送時は、ダブルチェックを徹底している。個人情報はサーバーにて管理しており、職員のみ活用できるようになっている。事故と考えられる事例が発生した場合は、職員間で今後の対策を十分に検討し、徹底した管理ができるように改善していく。

(7) 情報公開への取組について

川島地域ケアプラザ情報公開規定に則り、積極的に情報を公開し対応しています。ケアプラザの情報は、広報誌「リーベ川島」や区の広報を活用し、地域住民へ毎月情報提供した。

(8) 人権啓発への取組について

認知症や精神疾患の理解を深めるために、外部研修に参加し、法人での勉強会、所内での研修会、伝達講習会を開催し職員の知識向上を図った。個人としての倫理基準として、個人の尊厳や守秘義務、人権の尊重について等、所内研修で意見交換をしながら人権啓発に取り組んだ。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ごみにならないように再利用可能な商品を基本的に使用している。ごみの分別を的確に実施し、ごみの減量化と環境保護に全職員で取り組んだ。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士	1名	
主任ケアマネジャー	1名	(H29年11月より未配置)
保健師	1名	
介護支援専門員(兼務)	1名	

《目標に対する成果等》

- ・可能な限り自立した生活が継続できるよう、ご本人の意思を尊重し、その人らしい生活の維持向上を図っていけるよう支援した。
- ・ご本人の状態にあった介護予防プランの作成を行った。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

- 実費負担はなし

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・関係機関と連携をとりながら適切なプランの作成を行った。
- ・必要に応じて、インフォーマルサービスや地域資源の紹介を行い、ケアプランに取り入れ、包括的な支援を行った。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
165	168	168	160	166	167
10月	11月	12月	1月	2月	3月
166	160	184	174	170	172

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤専任 2名
常勤兼務 1名
非常勤兼務 1名

《目標に対する成果等》

- ・ご本人様、ご家族様のニーズを受け止め、その人らしい生活ができるように支援を行った。
- ・ご本人様の自立した生活を支援し、公平中立な立場で居宅サービス計画を作成するとともに、福祉サービスや医療サービスが総合的に提供されるよう、関係機関等の連絡調整を行った。
- ・困難事例に対しても適切な支援ができるように、お互いのコミュニケーションや多機関との連絡調整を充分に行い、支援を心がけた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・特定事業所加算Ⅱを算定取得しています。支援困難事例への専門性の高いマネジメントを提供できるように努めた。
- ・ご利用者様に向けて、広報紙「エスポワール」を年2回作成し、地域住民へ介護保険情報をわかりやすく提供した。
- ・独自のアンケートを毎年実施し、より良いサービスの向上を目指した。
- ・サービス向上の一環として、季節に合った手作りカードをお渡しすることで、コミュニケーションを深め、信頼関係を築くよう努力しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
83 他：予防7	83 他：予防7	92 他：予防6	87 他：予防9	87 他：予防9	86 他：予防8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
91 他：予防6	87 他：予防6	85 他：予防6	88 予防12	87 予防4	87 予防9

● 通所介護・認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市川島地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,002,600		18,002,600	17,312,240	690,360	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0		0	
自主事業収入			0	258,450	△ 258,450	この列は入力しない
雑入	0		0	144,709	△ 144,709	
印刷代			0	94,010	△ 94,010	
自動販売機手数料			0	44,815	△ 44,815	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	5,884	△ 5,884	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	18,002,600	0	18,002,600	17,715,399	287,201	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,470,000	0	12,470,000	11,173,200	1,296,800	
本俸	7,900,000		7,900,000	7,512,730	387,270	
社会保険料	1,110,000		1,110,000	836,459	273,541	
手当計	1,290,000		1,290,000	2,628,230	△ 1,338,230	
健康診断費	100,000		100,000	110,731	△ 10,731	
勤労者福祉共済掛金	1,460,000		1,460,000	85,050	1,374,950	マニフスシズ
退職給付引当金繰入額	380,000		380,000	0	380,000	
その他	230,000		230,000	0	230,000	
事務費	1,000,000	0	1,000,000	2,172,682	△ 1,172,682	
旅費	3,000		3,000	3,280	△ 280	
消耗品費	500,000		500,000	575,166	△ 75,166	
会議随時費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	58,000		58,000	466,741	△ 408,741	
使用料及び賃借料	0	0	0	20,928	△ 20,928	
横浜市への支払分	0		0	20,928	△ 20,928	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	526,915	△ 426,915	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	22,000		22,000	71,408	△ 49,408	
職員等研修費	10,000		10,000	1,764	8,236	
振込手数料	500		500	0	500	
リース料	45,000		45,000	23,036	21,964	
手数料	7,600		7,600	0	7,600	
地域協力費	100,000		100,000	71,710	28,290	
その他	153,900		153,900	411,734	△ 257,834	
事業費	642,000	0	642,000	824,093	△ 213,245	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,848	31,152	予算・指定額
指定管理料充当 事業	600,000		600,000	813,245	△ 213,245	
管理費	2,893,000	0		2,651,568	24,687	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,359,000		0	1,142,255	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	400,500		400,500	440,254	△ 39,754	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	395,000		395,000	445,371	△ 50,371	
設備保全費	257,100	0	257,100	333,343	△ 76,243	
空調衛生設備保守	35,500		35,500	25,596	9,904	
消防設備保守	130,000		130,000	208,523	△ 78,523	
電気設備保守	35,600		35,600	34,128	1,472	
害虫駆除清掃保守	35,500		35,500	25,596	9,904	
駐車場設備保全費	20,500		20,500	39,500	△ 19,000	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	7,400		7,400	0	7,400	
その他			0	290,345	△ 290,345	
公租公課	997,600	0	997,600	893,856	103,744	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	997,600		997,600	893,856	103,744	
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
リース対応費					0	この列は入力しない
支出合計	18,002,600	0	15,109,600	17,715,399	39,304	
差引	0	0	2,893,000	0	247,897	

自主事業費収入	600,000		600,000	258,450	341,550	
自主事業費支出	600,000		600,000	813,245	△ 213,245	
自主事業収支	0	0	0	△ 554,795	554,795	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	44,815	△ 44,815	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	20,928	△ 20,928	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	23,887	△ 23,887	

平成30年度「横浜市川島地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,876,000		22,876,000	19,528,436	3,347,564	横浜市より
指定管理料(介護予防)	150,000		150,000	150,450	△450	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,394,937	394,063	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	134,600	△134,600	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,500,000		1,500,000	1,500,000	0	
収入合計	30,315,000	0	30,315,000	26,708,423	3,606,577	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,210,000	0	26,210,000	16,550,863	9,659,137	
本俸	11,000,000		11,000,000	7,999,399	3,000,601	
社会保険料	2,800,000		2,800,000	1,883,221	916,779	
手当計	4,700,000		4,700,000	6,393,116	△1,693,116	
健康診断費	700,000		700,000	92,877	607,123	
勤労者福祉共済掛金	3,200,000		3,200,000	182,250	3,017,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,180,000		1,180,000	0	1,180,000	
その他	2,630,000		2,630,000	0	2,630,000	
事務費	825,000	0	825,000	1,569,851	△744,851	
旅費	18,000		18,000	5,760	12,240	
消耗品費	326,000		326,000	230,890	95,110	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	134,000		134,000	221,071	△87,071	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	805,187	△705,187	
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	
施設賠償責任保険	8,000		8,000	18,982	△10,982	
職員等研修費	30,000		30,000	6,574	23,426	
振込手数料	5,000		5,000	756	4,244	
リース料	22,000		22,000	6,124	15,876	
手数料	80,000		80,000	11,000	69,000	
地域協力費	16,800		16,800	7,541	9,259	
その他	80,200		80,200	255,966	△175,766	
事業費	1,229,000	0	1,229,000	6,382,868	△5,153,868	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	140,000		140,000	396,481	△256,481	
指定管理料充当事業(介護予防)	150,000		150,000	150,450	△450	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	5,394,937	△5,085,937	予算:指定額
管理費	1,591,000	0	1,591,000	704,841	886,159	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	365,000	0	365,000	303,637	61,363	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	235,000		235,000	117,026	117,974	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算:指定額
機械警備費	300,000		300,000	118,389	181,611	
設備保全費	254,000	0	254,000	88,609	165,391	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	6,804	3,196	
消防設備保守	37,000		37,000	55,429	△18,429	
電気設備保守	17,000		17,000	9,072	7,928	
害虫駆除清掃保守	75,000		75,000	6,804	68,196	
駐車場設備保全費	35,000		35,000	10,500	24,500	
その他保全費	80,000		80,000	0	80,000	
共益費	35,000		35,000	0	35,000	
その他	276,000		276,000	77,180	198,820	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,855,000	0	29,855,000	25,208,423	4,646,577	
差引	460,000	0	460,000	1,500,000	△1,040,000	

自主事業費収入				134,600		
自主事業費支出				494,321		
自主事業収支	0			△359,721		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				10,500		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				△10,500		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市川島地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9185	3738	5447	17173	17612	-439			0			0
	その他	0	132	-132	547	0	547	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0	490		490			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他		132	-132	57	0	57			0			0
収入合計(A)		9185	3870	5315	17720	17612	108	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0	12432	12593	-161			0			0
	事務費			0	523	603	-80			0			0
	事業費			0	78	86	-8			0			0
	管理費			0	0	22	-22			0			0
	その他	7316	5980	1336	500	2	498	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	7316	5980	1336			0			0			0
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
その他			0	500	2	498			0			0	
支出合計(B)		7316	5980	1336	13533	13306	227	0	0	0	0	0	0
収支 (A)-(B)		1869	-2110	3979	4187	4306	-119	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ほっとホット茶屋	地域住民	41,435	地活	1,735	39,700			41,435	
	20名×22回		包括						
	100円		介護						
			生活						
川島ハーモニードレミ	地域住民	69,000	地活	9,900	59,100		69,000		
	50名×21回		包括						
	100円		介護						
			生活						
川島文化祭	地域住民	281,834	地活	131,484		150,350		281,834	
	500名×1回		包括						
	模擬店購入費		介護						
			生活						
川島健康フェスティバル	地域住民	90,378	地活	73,673			16,705	73,673	
	200名×1回		包括						
	無料		介護	16,705					
			生活						
福祉学習	川島小学校児童	0	地活	0					
	390名		包括						
	無料		介護						
			生活						
映画上映会 シネマ川島	地域住民	67,500	地活	67,500				67,500	
	50名×2回		包括						
	無料		介護						
			生活						
ぺこぼこ教室	子育て中の親子	120,000	地活	120,000			120,000		
	30名×11回		包括						
	無料		介護						
			生活						
こども夏休み教室	小学生	20,538	地活	11,238	9,300			20,538	
	20名、15名		包括						
	300円、200円		介護						
			生活						
室内スポーツポッチャ	身体に支障のある方と地域住民	9,454	地活	9,456				9,456	
	10名×11回		包括						
	無料		介護						
			生活						
身体障害者施設たち ほどがや「にこにこ祭り」 への参加	地域住民	5,751	地活	5,751				5,751	
	200名×1回		包括						
	無料		介護						
			生活						
川島文化祭音楽会	地域住民	56,090	地活	56,090			50,000	6,090	
	50名×1回		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
びーすらんど	子育て中の親子	6,162	地活	6,162				6,162	
	20名×12回		包括						
	無料		介護						
			生活						
学校の帰り DEHIPHOPDANCE	何らかの障がいを持つ小・中学生	60,000	地活	60,000			60,000		
	10名×12回		包括						
	無料		介護						
			生活						
健康講座	地域住民	0	地活	0					
	20名×11回		包括						
	無料		介護						
			生活						
ちょこつとえかたり〜べ	地域住民	0	地活	0					
	15名×2回		包括						
	無料		介護						
			生活						
健康いきいきポイント登録説明会	地域住民	0	地活	0					
	10名×1回		包括						
	無料		介護						
			生活						
ほっとフレンズ2018夏ボランティア研修説明会・夏祭り	障がいのある児童生徒	0	地活	0					
	2回 49名		包括						
	0		介護						
			生活						
消防署が教えてくれる避難訓練	地域住民	0	地活	0					
	20名×2回		包括						
	無料		介護						
			生活						
学齢障がい児余暇支援事業ダンス発表交流会	障がいのある児童生徒	0	地活	0					
	30名×1回		包括						
	無料		介護						
			生活						
ほどがや区民まつりの参加	地域住民	0	地活	0					
	400名×1回		包括						
	無料		介護						
			生活						
川島文化祭作品展	地域住民	1,506	地活	1,506				1,506	
	40名×1回		包括						
	無料		介護						
			生活						
ほどがや元気村の皆さんに教わるわら細工教室	地域住民	300	地活	300					300
	15名×1回		包括						
	100円		介護						
			生活						
ハッスル体操	概ね65歳以上の方	210,000	地活				210,000		
	40×21回		包括	133,800	76,200				
	200円		介護						
			生活						
ビギナーヨガ	概ね65歳以上の方	58,272	地活				54,000		
	40×9回		包括	40,472	17,800			4,272	
	200円		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
あったかサロン めくめく	地域住民	19,666	地活	17,800			19,666		
	40名×12回		包括						1,866
	100円		介護						
～介護者のつどい～ やきいもの会	介護されている方	21,185	地活	1,300			21,185		
	10名×6回		包括						19,885
	100円		介護						
男みがき塾6	60歳以上男性	22,450	地活	14,000		9,880	12,570		
	15名×11回		包括						8,450
	200円		介護						
川島さくらんぼ	ケアマネジャー	3,168	地活				3,168		
	15名×10回		包括						3,168
	0円		介護						
クックGメン	60歳以上男性	21,602	地活	4,000			21,602		
	5名×9回		包括						17,602
	400円		介護						
メッセンジャー川島	地域住民	17,080	地活				17,080		
	特になし		包括						17,080
	0円		介護						
あったかサロンぽかぽか	地域住民	5,137	地活	3,500			5,137		
	20名×6回		包括						1,637
	100円		介護						
健康ニコニコウォーキング5	地域住民	557	地活				557		
	40名×1回		包括						557
	0円		介護						
健康測定 & 老い支度講座@西原集会所	地域住民	0	地活						
	30名×1回		包括						0
	0円		介護						
保土ヶ谷区合同ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	5,420	地活			3,340	2,080		
	40名×7回		包括						5,420
	0円		介護						
多職種連携会議	医療・介護事業所	3,576	地活				3,576		
	60名×1回		包括						3,576
	0円		介護						
西谷発ケアプラっと散歩	地域住民	736	地活				736		
	19名×1回		包括						
	無料		介護						736
民生委員児童委員ケアマネジャー連絡会	民生委員 ケアマネジャー	3,576	地活				3,576		
	50名×2回		包括						3,576
	0円		介護						
地域ケア会議	地域住民、関係機関	1,792	地活				1,792		
	15名×2回		包括						1,792
	0円		介護						
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	地活						
	小学校、中学校		包括						0
	0円		介護						
ほっとフレンズ2019春ボランティア研修説明会・手打ちうどん作り&和太鼓体験	障がいのある児童生徒	0	地活						
	2回 44名		包括						0
	0円		介護						

平成30年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
国立科学博物館へ行く！	障がいのある児童生徒	0	地活	0					
	1回 11名		包括						
	0円		介護生活						
そうだったのか 大切な人を守るための 福祉情報最前線	地域住民	3000	地活						
	1回 23名		包括	3000			3000		
	無料		介護生活						
ハイム向台 体操教室	地域住民	22274	地活						
	2回 20名		包括						
	無料		介護生活	22274			22274		
男の体操教室	60歳以上の男性	17819	地活						
	2回 30名		包括						
	無料		介護生活	17819			17819		
川島元気塾	概ね65歳以上	38979	地活						
	3回 30名		包括						
	無料		介護生活	38979			38979		
健康づくり隊	地域住民	33410	地活						
	2回 30名		包括						
	無料		介護生活	33410			33410		
川島原元気塾	くぬぎ台団地周辺住民	23063	地活						
	6名		包括						
	300円		介護生活	21263	1800		16705	6358	

平成30年度 自主事業報告書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとホット茶屋	【目的】 ・参加者同士交流を広げる ・地域とのつながり深める ・ボランティア活動発表の場 ・趣味活動を通し仲間意識育む 【内容】 ・交流支援を行い1人でも参加しやすい環境 ・ボランティアの発表を参加者全員で楽しむ雰囲気 ・事業案内や参加者様子を伺う職員配置 ・参加者全員で誕生日を祝う ・参加者同士楽しめる趣味活動提案 ・参加者同士自由に過ごせる場	第2火・第4火 22回 (8月1回目, 12月2回目 なし)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島ハーモニードレミ	【目的】 ・参加者同士交流を広げる ・地域とのつながり深める ・ボランティア活動発表の場 ・趣味活動を通し仲間意識育む 【内容】 ・季節感を感じられる選曲 ・交流の機会としての休憩時間 ・助け合って会場設営 ・ボランティア活動の場 ・文化祭出演に向けた取り組み	第2金・第4木 22回 (8月1回目, 12月2回目 なし)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭	【目的】 ・貸室団体活動周知 ・ケアプラザ拠点の交流の場機会 ・活動披露による一体感形成 【内容】 ・模擬店・地野菜販売・バルーンアート・紙芝居 ・サイエンスショー工作・地域コンサート・外部委託パフォーマンス ・暮らしのアンケート・仮装・撮影スポット等	11月11日(日) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島健康フェスティバル	【目的】 ・健康を意識し関心を持つ ・ケアプラザ周知、地域住民交流 【内容】 ・子どもから高齢者まで体験できる内容 ・プログラムを配布する ・2交代制でボランティア活動を行う	6月23日(土) 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉学習	【目的】 ・福祉への関心高める ・ケア・ラサ職員等との交流 ・小学校とケア・ラサ繋がり 【内容】 ・人権週間内で学年に応じた福祉教育を行う ・学年の福祉教育目標達成の一助に心掛ける ・福祉拠点としてのケア・ラサの周知	11月下旬～ 12月初旬 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画上映会 シネマ川島	【目的】 ・映画を楽しみリフレッシュ ・ケア・ラサ周知 【内容】 ・映画上映 ・事業チラシ配布説明でケア・ラサ周知	7月・11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぺこぼこ教室	【目的】 ・身近な相談、支援の場 ・区連携で発達障がい早期発見 ・発達に応じた支援 ・不安を抱えた親子の居場所 【内容】 ・ふれあいの中から発達に合った支援を考える ・先生が親子のペースで相談に応じる ・反省会により進行や参加親子のふりかえり ・別途支援が必要な親子を子家支援課へ繋ぐ	第4水 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども夏休み教室	【目的】 ・ものづくりの面白さを知る ・子どもに向けたケア・ラサ周知 ・子どもと地域の交流活動 【内容】 ・科学工作 ・料理教室	8月上旬 2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
室内スポーツ ポッチャ	【目的】 ・障がい者と地域住民の交流 ・無理なくスポーツを楽しむ場 ・ボランティア活動の場 【内容】 ・気軽に参加可能な雰囲気でもッチャを行う ・日頃の成果を発揮する場として総合大会開催 ・保土ヶ谷区大会出場を目指す ・参加者の身体状況を把握しボランティアとサポート ・ボランティアによる準備体操	第4土 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
身体障害者施設 たちほどがや 「にこにこ祭り」への参加	【目的】 ・地域住民や施設関係者が多数来場する地域施設の祭りに参加させていただき、顔の見える関係づくりを行う。 ・地域ケアプラザ身近で気軽に相談・活動できる施設であることを周知する。 ・誰もが担い手になれるという観点から地域にある施設間の連携を深めることを目的とする。 【内容】 地域ケアプラザ周知ブースの出店（リーフレットの配布およびヨーヨー釣り）	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭音楽会	【目的】 ・音楽を楽しむ ・来館のきっかけ 【内容】 ・音楽会を地域住民に楽しんでもらう	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーすらんど	【目的】 ・友達づくり情報交換を行う場 ・地域の子育て支援情報提供 ・地域で子育て支援体制形成 ・子育て支援者と親子ふれあい 【内容】 ・親子が自由に過ごすフリースペース ・地域保育園児が体操や手遊びによる交流 ・継続参加で参加者同士の交流を促す ・地域や子育て支援団体からの情報を提供 ・専門的支援を必要とする参加者を機関へ繋ぐ	第2水 11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
学校の帰り DEHIPHOPDANCE	【目的】 ・音楽通した社会参加の実現 ・発達理解に対する理解 ・親子の居場所づくり ・小中学校との連携で見守り 【内容】 ・子どもの発達に応じ講師の踊り指導を行う ・親にも参加してもらい様子を共有する ・ボランティアを募集し子どもの見守りを行う	第4水 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座	【目的】 ・病気予防、健康意識向上 ・健康情報のニーズを探る ・不安、悩み解消 【内容】 ・毎回テーマを考え講師主催者で構成を練る ・資料をスクリーン投影し視覚で確認 ・質疑応答、事後アンケート実施	第2木 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっとえかたり～べ	【目的】 ・物語の新しい楽しみ方を知る ・体験を通じた地域交流 ・地域で活躍する団体活動周知 ・体験を地域活動へ生かす機会 【内容】 ・ほどがやえかたり～べ活動紹介 ・読み聞かせ体験 ・体験を生かす場の提案	4月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康いきいきポイント登録説明会	【目的】 ・地域貢献で生きがいづくり ・ボランティアポイント事業への理解 ・ケアアザでの活動周知促進 【内容】 ・テキストに沿った講師による研修会 ・ケアアザのボランティア活動紹介 ・登録手続き	6月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2018夏ボラン ティア研修説明 会・夏祭り	【目的】 ・障がい児余暇支援 ・家族のレスパイト ・学生ボランティアとの交流 【内容】 ・ボランティアに対する事前説明会 ・保護者による送迎以外はボランティアと行動 ・昼食をはさんだ数時間活動を楽しむ ・経費総額96,500円は、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサ ポート事業の補助金(92,000円)及び参加費4,500円(@ 500円×9人)でまかかった。	8月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消防署が教えて くれる避難訓練	【目的】 ・AED使用法習得 ・職員による誘導訓練 【内容】 ・火災想定での避難訓練、災害対応訓練 ・AED講習会	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児余 暇支援事業ダン ス発表交流会	【目的】 ・岩崎地域ケアプラザ、仏向地域ケアプラザ、川島地域ケ アプラザで実施している学齢障がい児余暇支援事業の参加 者同士の「新たな出会いの場」となるキッカケづくりと交 流を目的に実施 ・日頃の活動の成果を発表する場の提供を目的とし地域住 民に向けた障がい理解の普及啓発を図る 【内容】 岩崎地域ケアプラザで実施したプラザまつりのステージイ ベントにてダンス発表 ダンス発表終了後は参加者同士の交流会を実施	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほどがや区民ま つりの参加	【目的】 ・地域ケアプラザ周知 【内容】 ・YOUはなににしにCPへ診断チャートから事業紹介	10月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
川島文化祭作品展	【目的】 ・新たなコミュニケーションを形成 ・地域住民の活動を展示 ・貸室利用団体活動周知 ・地域資源発掘 【内容】 ・地域の方の作品展示し開館時間内随時観覧 ・出品者からのメッセージ展示による活動周知 ・出品者による会場案内係 ・観覧者にアンケート実施し地域ニーズ把握 ・貸室登録団体、地域福祉施設の参加	11月 1週間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほどがや元気村の皆さんに教わるわら細工教室	【目的】 ・ほどがや元気村指導でわら細工 ・ほどがや元気村の活動をお話し 【内容】 ・ほどがや元気村指導でわら細工 ・ほどがや元気村の活動をお話し	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西谷駅発ケアプラツと散歩	【目的】 ・さんぽを通じて地域の情報共有を行い参加者どうしの交流の場をつくる。 ・西谷にお住まいの方のケアプラザ利用促進 【内容】 3エリア保健活動推進員の協力で参加者の見守りを行いながらウォーキングの実施。西谷駅発ケアプラザに立ち寄り、ケアプラザ周知を行う。西谷浄水場で案内に従い、見学を行う	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
メッセンジャー川島	【目的】 ケアプラザ(地域包括支援センター)を身近に感じてもらえるように周知を行う。 【内容】 ・地域の方のご要望に応じ、直接地域の会館や会合に出向き、ミニ講座を実施。 ・生活に役立つ情報(健康、介護、権利擁護関係、子育て、障害関係)をわかりやすく提供するとともに、ケアプラザ(地域包括支援センター)を身近に感じてもらえるよう周知を行う。	依頼があれば適宜年50回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
民生委員児童委員ケアマネジャー連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員とケアマネジャーの交流により、支援が必要な方に対し、連携がスムーズに行えるよう顔の見える関係を構築する ・高齢者虐待や精神障がいなど相談が増えてきているテーマに対して現状や対応方について理解する <p>【内容】</p> <p>1回目：H30年8月2日（木）10：00～12：00 「精神障がいの理解、事例検討を通じて具体的な対応・連携方法を考える」</p> <p>2回目：H31年2月13日（木）14：00～15：30 「高齢虐待の現状を知り、連携がスムーズに行えるよう顔の見える関係を構築する」</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ケ谷区合同ケアマネ連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが利用者の心身の状況等に応じ、利用者の意思を尊重し、本人のストレングスを活かしたケアマネジメントを実践できるような知識や考え方を学ぶ <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮の対応・在宅医療機器・心の病息とのかかわりのポイント・社会資源を考える・認知症カフェについて・介護予防支援、介護予防ケアマネジメントについて・口腔疾患を学ぶ 	年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
～介護者のつどい～ やきいもの会	<p>【目的】</p> <p>介護している方、もしくは介護を卒業された方が集い、介護者同士の情報交換の場を提供し、今後の生活の活力にしてもらう。</p> <p>【内容】</p> <p>毎回違ったテーマで介護に関する情報提供や勉強会を行うとともに介護者同士が気軽に話せるような交流会、懇話会を行う。</p>	年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったかサロン ぬくぬく	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザまで足を運べない方々が身近な場所で交流できる場の提供 ・体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症介護予防をはかる <p>【内容】</p> <p>お茶のみ・歓談、体操、ストレッチ、レクリエーション、歌等</p>	最終月曜 年12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あったかサロン ぽかぽか	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザまで足を運べない方々が身近な場所で交流できる場の提供 ・体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症介護予防をはかる <p>【内容】</p> <p>お茶のみ・歓談、体操、ストレッチ、レクリエーション、歌等</p>	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男みがき塾6	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出機会をつくり、男性同士の交流を深め、仲間作りのきっかけをつくる ・健康、運動や趣味活動、ケアプラザの活動を知ってもらい、他の事業参加のきっかけとしてもらう。 ・参加者達の自主性を高め、他事業の案内やボランティアへの関心を高め、他事業の案内やボランティアにつなげる。 <p>【内容】</p> <p>オリジナルウォーキング・健康体力測定、体操、スポーツ吹き矢、ボッチャ大会、パステルアート等</p>	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島さくらんぼ	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーとの関係づくりや現状把握を行う。ケアマネジャーとの情報交換、相談、支援の場を定期的に設ける。 ・川島地域ケアプラザにケアマネジャーが集い、情報交換、近況報告、悩みについてなど気軽に話し合える場を提供する。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが昼食をとりながら気軽に集えるサロン。悩みの共有や情報提供を行う ・今年度はさくらんぼ内にて事例検討会を年2回。さくらんぼ終了後に居宅介護支援事業所同士での事例検討会を年3回実施。 	第3金曜 年10回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クックGメン	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性高齢者の健康維持・増進及び、生活習慣病改善の為、栄養について学び食事への意識向上を目指す。 ・地域との関りが少なく他者との交流が少なくなってしまう方の、仲間づくり・交流の場とする。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養価やバランスを考慮したメニューを考案し、自分たちで調理し、包丁の使い方などを取得する。 ・レシピと工程表を配布し、仲間と共に協力して調理する事で交流を深め、認知予防にもつながる。 ・自宅でもできる食材や調理方法で簡単にできる内容で行う事で、自主性を促す。 ・参加者同士の地域との関りや社会参加の様子をうかがうとともに、川島地域ケアプラザの自主事業、その他の情報提供を行い、更なる社会参加を促していく。 	第3木曜 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康測定&老い支度講座 @ 西原集会所	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川島地域ケアプラザになかなか出向くことができない川島原地区の方々向けに健康測定を行う機会を持ち、自身の健康状態を確認する機会を持ち、健康でいられるよう意識啓発を行う。 ・高齢化率の高い川島原地区（西原自治会、西原若葉自治会住民）にて自身の将来の判断力の喪失やもしもの備えの必要性を伝え、老い支度のことを考ええるきっかけとなる。 ・川島地域ケアプラザを身近に感じていただき、気軽に相談できる機関であると認識する機会となる。 <p>【内容】</p> <p>日時：H31年3月28日（木） 場所：西原集会所 内容：健康測定（体組成計、握力）解説—相川 脳トレ—高橋 老い支度講座—早川 共催：西原自治会、西原若葉自治会 対象：西原住宅、西原アパート在住の方 定員：30名 費用：無料</p>	平成31年 3月28日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康ニコニコウォーキング5	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に正しい歩き方を学んでいただき、日常生活に活かして、健康増進・介護予防とする。 ・年代を限定せずに広く地域住民の方々に参加していただき、交流の場を設ける。 ・住み慣れた地域をまわり、日頃気づかない地域の名所や季節の草花に触れ、リフレッシュする機会となる。 <p>【内容】</p> <p>日時：平成30年11月26日（月）9：30～12：00 対象：地域の方 2時間程度しっかり歩ける方 集合：横浜市川島地域ケアプラザ 行先：羽沢駅（仮称）、平本花園、上星川あおぞら公園 共催：川島東部保健活動推進委員会 西谷保健活動推進委員会 川島原保険活動推進委員会</p>	平成30年 11月26日（月） 9：30～12：00

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種連携会議	【目的】 ・多職種が互いの理解・協力体制を深め、具体的な事例をもとに精神障がいの方への支援について学ぶ 【内容】 ・「事例を通じて精神障がいの理解を深め、具体的な事例をもとに精神障がいの方への支援について学ぶ」 精神障がいの概要（症状、対応）、区役所の役割、事例検討会	H31年3月27日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	【目的】 ・個人の心配ごと・困りごとの話合い ・個人を支える地域でのネットワークづくり ・地域で取り組めることを話し合う ・地域全体を支える充実したネットワークづくり 【内容】 ・くぬぎ台団地にて 11月―「気になる方についての情報共有、地域課題の抽出・共有」 2月―「見守り・声かけ、集いの場について」	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	【目的】 ・認知症について正しく理解する ・認知症の方への対応の仕方について考え、学ぶ 【内容】 ・H30年11月27日（火）川島小学校6年生 ・H31年2月25日（月）西谷中学校3年生	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッスル体操	【目的】 概ね65歳以上の地域住民 ・全身の筋力の維持、柔軟性を高め転倒予防を図る。 ・体を動かす事や声を出す事で脳を活性化させ、認知症予防を図る。 ・地域の方々が交流できる場の提供 概ね65歳以上の地域住民 ・初めて運動を始める方への事業として、全身の筋肉維持や関節を柔軟にし、健康づくりや介護予防を図る ・心と身体のコリをほぐし、メンタルバランスを整える 【内容】 健康運動指導士：山口恵美子氏 ・脳の体操（手先や足先を動かしながら声も出すという二つの動作を同時に行う） ・座位、立位によるストレッチ ・ストレッチボールやセラバンドを用いた筋力トレーニング ・運動レベルは軽度、足腰の悪い方や軽度認知症がある方でも参加可能なやさしいコース ※2年コースであり、2年目参加者には自主グループを案内し、健康づくりの継続を支援。	年20回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビギナー ヨガ	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて運動を始める方への事業として、全身の筋肉維持や関節を柔軟にし、健康づくりや介護予防を図る ・心と身体のコリをほぐし、メンタルバランスを整える <p>【内容】</p> <p>ヨガインストラクター：中野真理子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座位にて呼吸法、上司の筋肉を鍛えるポーズ ・立位にてバランスや柔軟性を高めるポーズ ・仰臥位にて瞑想、リラクセーションポーズ <p>運動レベルは軽度、初めてヨガを始める方対象のやさしめコース</p> <p>※2年コースであり、2年目参加者には自主グループを案内し、健康づくりの継続を支援。 自主グループを案内し、健康づくりの継続を支援。</p>	年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2019春ボラン ティア研修説明 会・手打ちうど ん作り&和太鼓体 験	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児余暇支援 ・家族のレスパイト ・学生ボランティアとの交流 <p>【内容】</p> <p>区内障がい児者の関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会として上菅田地域ケアプラザで開催する余暇プログラム「ほっとフレンズ2019春 手打ちうどん作り&和太鼓体験」を実施。実行委員会のメンバーで、総務、会計、プログラム、ボランティアと4つのグループに分かれ当日まで役割を担った。</p> <p>参加者とボランティアがペアになり楽しめる企画を立案し、午前手打ちうどんを作り、配食ボランティアの作ったけんちん汁と一緒にけんちんうどんにして昼食とした。午後は講師を招いて和太鼓体験を実施した。</p> <p>ボランティア募集は近隣の高校、大学などに案内を郵送。高校生～専門学校生、大学生等の応募があった。実施日1週間前にボランティア説明会を実施し、すみれ園の職員によるボランティア研修と注意事項の説明の実施。保土ヶ谷区社協の職員による車椅子の使い方研修を行い、障がいの理解に努めた。</p> <p>経費総額98,000円は、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金(92,000円)及び参加費6,000円(@500円×12人)でまかされた。</p>	3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
国立科学博物館 へ行こう！	<p>【目的】</p> <p>障がいを持っていても充実したひと時を過ごせる活動の場の提供として、親子で安心して外出のできる場所を利用して親子同士の交流を図る。ケアプラザが連携して合同事業の拡充を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート助成金を活用して、上野公園内の国立科学博物館の大哺乳類展2を観覧する外出企画。</p>	3月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>そうだったのか 大切な人を守る ための福祉情報 最前線</p>	<p>【目的】 ・20～50歳代の地域住民が必要とする保健福祉情報を発信し生活に役立てられるようにする。 ・身近な相談窓口や地域情報収集の場としてのケアプラザの機能を周知する。 ・ケアプラザへの来館機会が少ない地域住民と顔の見える関係づくりのきっかけ</p> <p>【内容】 ・詐欺の最新手口から離れて暮らす親を守るために（講話） ・40歳から始まる介護保険料納付ルールと仕組み（情報提供）</p>	<p>12月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>ハイム向台 体操教室</p>	<p>【目的】 ・地域住民が自分の身近な場所で健康づくりがや交流が出来る場の提供 ・地域住民主体の継続的な交流及び健康づくりの活動に繋げる</p> <p>【内容】 ・運動レベルは軽度。足腰の悪い方や軽度認知症がある方でも参加可能のやさしめコース ・お茶のみサロン：健康体操終了後30分程度 生活コーディネーターと協力し、地域のニーズの把握や参加者同士の交流の場とする。</p>	<p>H30年7月 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>男の体操教室</p>	<p>【目的】 ・地域男性が自分の身近な場所で健康づくりがや交流が出来る場の提供 ・地域住民主体の継続的な交流及び健康づくりの活動に繋げる</p> <p>【内容】 ・シニアヨガインストラクター：武川 三矢子氏 ・運動レベルは軽度から中等度 健康椅子ヨガ ・ヨガの呼吸法を取り交ぜた体操で、心身のリフレッシュと筋力アップ、インナーマッスルの強化を狙う</p>	<p>H30年10月 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>川島元気塾</p>	<p>【目的】 ①口腔ケアの重要性を理解し、介護予防に関する知識を取得する。 ②参加者自ら介護予防に取り組むきっかけ作り</p> <p>【内容】 ①H30. 10. 29 歯科医師：口の健康と身体への影響 ②H30. 11. 12 音楽療法士：音楽療法の目的、効果、回想法 ③H30. 12. 17 管理栄養士：誤嚥と嚥下機能低下について 高齢者の食べる機能と食事のポイント</p>	<p>H30年10月29日、11月12日、12月17日 計3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>健康づくり隊</p>	<p>【目的】 ①地域の方々が健康で生きがいのある活動的な生活を送ることが出来る様に健康づくり介護予防に取り組むグループを支援する。 ②地域の方々のグループ活動等をサポートできる人材育成に向けたきっかけ作り</p> <p>【内容】 音楽レクリエーション</p>	<p>日時：H31年1月9日、1月30日 14：00-15：00</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島原元気塾	<p>【目的】 ①高齢者の低栄養を予防し、健康管理に関する知識の習得する機会とする。 ②火を使わないで、安全にバランスの良い食事を摂取出来る。 ③介護予防に取り組むきっかけづくり</p> <p>【内容】 ①栄養講座 ②調理実習及び実食</p>	日時：H31年3月 28日（木） 11：00～12：30